

# 平成 22 年度三和幼稚園学校評価 (自己評価・学校関係者評価)

## <H22年度、三和幼稚園目標>

### 目標

- ① 幼稚園の教育カリキュラムを反省に踏まえて作成する。
- ② 教職員の共通理解をはかり、教育の質を高めると共に、発達に応じた基本的生活習慣(挨拶・礼儀など)を強化する。

### 評価委員からの評価

年間指導計画の中で身に着けてほしい生活習慣を子どもの目線に合わせて指導してくれていた。

5年生より英語が必修になり、父兄の方々も気にしており小さい頃から、英語に親しむ機会があるのもよい。できれば、もっと多くの楽器に触れ、手、体、耳、心で感じ豊かな感性を養ってほしい。

## <取り組みに対する評価>

評価項目	評価と課題
教育課程	講師を招き、指導計画を見直し作成。子どもの実態に、添わない点を見直し研修を行い、反省と課題に基づいて、修正を今後もしていく。
幼児への対応 保育のあり方	挨拶や礼儀、マナーなど、発達に合わせて園児指導してきた。挨拶にて、形はできていたが、心のこもった挨拶まではいかなかった。教員の生活習慣に対するの共有化、確認をしていく必要がある。
安全管理	毎朝遊具・園庭点検から、日頃の怪我の起こりそうな所を意識できた。しかし、怪我につながってしまったこともあり、職員同士で、原因追求したうえで、園庭での職員の配置を実践してきた。
研修	各教員が公開保育を行い、お互いの保育を見合う事により、保育環境を指摘しあった。また外部から大学教授講師を招き資質向上を図った。幼稚園研修など各研修会に参加し学んだことを資料にまとめ、職員の共有化を図った。これから自分の欠けている知識を研究していく。園児を全体でみる、集団の中の個々の子どもなど、観察する目を園内研修を通して研究していきたい。
情報提供	主に保護者対象に園便りや、クラス便りの発行。しかし、まだ保護者に理解してもらえていないことがある。読みたいと思えるおたより、園の方針をもっと打ち出していくおたより作りを作成していく必要がある。
保護者・地域との 関わり	信頼して園に通わせてくださることがうかがえる。行事などで、近所の方々に、駐車面で、ご迷惑をかけた。保護者へ駐車の方法、マナーなど、徹底的に理解してもらおう。
子育て支援	子育て支援＝サービスと捉えがちだったので、幼児期の子育ての大切さを理解してもらい、共に、園児を育てていけるように、保護者への理解をしてもらおう。

## <H23年度三和幼稚園目標>

- ・作成した指導計画に添って、保育をする中で、子供の実態に合った保育を再度徹底見直ししていく。
- ・園内外での研修を行い成果を共有する。

### 主な取り組み

- ・英語に親しむ
- ・よく見てよく聞いてよく考える力を養う
- ・専門講師による研修会に参加。